



取組テーマ	取組課所
院内ボランティアコンサートの活性化	がんセンター

現状と課題

●『がん』の患者＝不安・悲しみ・希望

音 楽

笑 い

ふれあい

感動・涙・リラックス

↓

痛みの軽減、免疫力の向上、回復の促進

POINT!

『相手の立場に立って仕事をしよう!』(平成21年度3Sカイゼン重点テーマ)

||

『患者さん、御家族の想いに寄り添った仕事をしよう』

取組の内容

カイゼン① : 演奏中の看護師による患者様のケア

カイゼン② : 患者さん、御家族の会場への案内・誘導

カイゼン③ : 身体に優しい会場(室温等)の配慮

カイゼン④ : コンサート開催のお知らせ、PRの推進



効果1：皆様からの声

患者さんからの声①

生の素晴らしい演奏を聴いて、いっぱい泣きました。

患者さんからの声②

ボランティアさんや他の患者さんと一緒に楽しめました。

御家族からの声

入院後初めて夫(患者)の笑顔を見た。音楽の力は素晴らしい。つらいけど、頑張ってた看病しようと思った。

ボランティアさんからの声

日に日に増えてきている患者さんや御家族の笑顔を見るのがうれしい。



効果2：来場者が3倍に

これまで

平均15人程度

約3倍に増加！

平成21年度

平均40～50人程度

効果3：コンサート回数が2倍に

これまで

月平均2～3回

約2倍に増加！

平成21年度

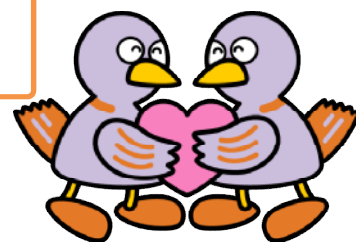
月平均5～6回



●目指すがんセンターの姿

患者さん、御家族が笑顔で元氣にがん向き合える

『日本一患者さんにやさしい病院』へ



取組課所の メッセージ

患者さん、御家族をはじめ、ボランティアさん、そして私ども職員。

皆、様々な「想い」をもってがんセンターに来ているということ。そして、その「想い」に応えることが我々職員の使命だということを、この取組を通して改めて知ることができました。

私たち職員ひとりひとりが皆様の「想い」をしっかりと受けとめ、「高度先進がん医療」と「患者さん、御家族の想いに寄り添ったケア」を提供することにより、「日本一患者さんにやさしい病院」を目指して参ります。